

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2009.11.15 No. 59 連絡先 042-555-1911



11・8沖縄県民大会 「普天間」県内を拒否、「基地ノー」決議

地元紙「県民大会で民意発信」と大きく報道

右の写真は「琉球新報」ですが2面を使って

11月8日の沖縄県民大会を報道しています。

この大会では、伊波洋一宜野湾市長とともに自民党の翁長雄志那覇市長が大会共同代表としてあいさつ、「保守・革新の立場を超えて県民が結束すべきだ」と訴えました。

沖縄の民意は、普天間基地の無条件閉鎖、名護市辺野古への新基地建設反対です。沖縄・嘉手納町では11月7日、「米軍基地の嘉手納統合許さない」と2,500人が町民大会を開きました。

鳩山内閣は、県民の意志に応じて対等な日米交渉をすべきです。



11・8 国民大集会「たたかって政治を変え

要求を実現しよう」と3万5千人

代々木公園で開かれた国民大集会には、「雇用を守れ」「後期高齢者医療制度廃止を」「農業守れ」など諸要求を掲げて全国から参加。「横田基地の撤去を求める西多摩の会」も参加。沖縄代表の発言のときは横断幕を持って舞台に集結「基地ノー」で連帯しました。



米テキサスの陸軍基地の医療施設で精神科医が銃乱射 13人死亡

米南部テキサス州のフォートフッド米陸軍基地で5日午後1時半（日本時間6日午前4時半）ごろ、乱射事件があり、米兵ら13人が死亡、30人が負傷したと報じられました。

警察は陸軍少佐のニダル・マリク・ハサン容疑者（39）を現場で逮捕。同容疑者は現場で負傷し、病院に運ばれました。兵士と家族ら計75,000人が暮らすこの基地は陸軍最大規模で、アフガニスタンやイラクに派兵しています。

米軍基地で米兵が同僚を殺害した事件としては「過去最悪規模」。ハサン容疑者は基地の医療施設で精神科医として兵士のカウンセリングなどにあたっていました。

米紙ニューヨーク・タイムズによると、ハサン容疑者の両親は中東出身。容疑者自身は米南部バージニア州出身で、米国籍を持ち独身。首都ワシントンにある米陸軍病院から最近、フォートフッド基地に異動。戦地に派遣された経験はないといいます。

地元選出の米上院議員は米CNNテレビの取材に対し、「ハサン容疑者は最近、イラクかアフガンへの従軍を命じられ、不満を抱いていたと（米軍関係者から）聞いた」と話しています。

オバマ大統領は事件後、「米国内の基地で、兵士が銃火を受ける恐ろしい事件が起きた」と述べました。「ミニ情報」No. 56でお知らせしましたが、アメリカでは今年5月、発砲事件があり5人が死亡しました。兵士は殺すことを教育され、戦場での痛ましい体験は精神的にも肉体的にも病んでいきます。戦争を続けるかぎり「恐ろしい事件」が起きるのではないのでしょうか。

米軍再編 当初の米側提案は 横田基地の第5空軍の撤収だった (No. 59 裏面)

10月16日、日本平和大会東京実行委員会の「平和学習のつどい」が開催され、「民主党政権下の安全保障政策」と題して、自衛隊、軍事問題に詳しい東京新聞編集委員の半田滋さんが講演しました。話は、防衛省での変化、米軍再編の行方、どうなる自衛隊海外派遣、自民党と変わらないのか、など豊富なものでしたが、その中で「そもそも米軍再編の米側提案に『沖縄』はなかった」という話がありました。では、何があったのでしょうか。

米軍再編の議論が始まった2003年11月、アメリカ政府の提案は、横田基地の第5空軍をグアムの第13空軍に合併させ撤収すること、陸軍の第1軍団をキャンプ座間に移すこと、在日米軍司令部を第1軍団司令部に移すこと、これが提案されただけだった、というのです。

横田基地の第5空軍の撤収は、アメリカの軍事費抑制の一環でしたが、日本側が強く反対して撤回されました。こんなことがあり、在日米軍が出動する場面で統合任務部隊の指揮を執るのは座間の第1軍団の可能性が高い、と言われてきました。

第5空軍の撤収は撤回され、米軍再編で横田は新たな役割を担うことに！

米軍は新たな作戦で2005年3月、グアムの第13空軍をハワイに移転、翌月には、アジア太平洋方面に対する航空戦術の元締めとなる「ケニー司令部」を創設。2007年1月5日には予告なく横田基地に「ケニー司令部ジャパン」を発足させました。

米軍再編では、府中基地から航空自衛隊航空総隊司令官を横田に移転し防空やミサイル防衛も行い、日米の共同統合運用調整所も設置します。当初の米側提案とは大変な変わりようです。

軍事ジャーナリストの福好昌治氏は『軍事研究』2009年10月号で、「太平洋軍司令官の指揮下で、」 「統合任務部隊に対して指揮権を行使できるのは、あくまでも統合任務部隊指揮官だけである。統合任務部隊指揮官はおそらく横田に設置されるだろう。」と書いています。

横田基地は、首都東京にありながら、あまりにも大きく、「撤去は無理」などと言われてきました。しかし、いつまでも黙っているわけにはいきません。沖縄をはじめ全国のたたかいは私たちに勇気を与えてくれます。「米軍基地ノー」で、ともに頑張りましょう。

あらためて 福生、羽村両市議会の 市の答弁の議事録を 読んでみよう

●【平成22年度に移駐いたします航空総隊司令部との関係では、日本の防空及びミサイル防衛の司令部間の連携を強化するため、航空総隊司令部は、第5空軍司令部と並置されることとなります。また、防空だけではなく、在日米軍と自衛隊との間で情報を共有し効率的な運用を図るため、在日米軍司令部と航空総隊司令部との間に共同統合運用調整所が設置されるものと理解もしております。

次に、航空自衛隊航空総隊の移駐の概略でございますけれども、まず、航空自衛隊航空総隊は、我が国の防空を主任務としており、その司令部は防空作戦を初めとするさまざまな航空作戦の指揮統制を担うほか、わが国のミサイル防衛における統合司令部としての機能も保持する予定であると聞いております。】(2008年・平成20年12月福生市議会、奥富喜一議員に対する答弁の抜粋)

●ケニー司令部ジャパンについて【平成19年1月9日付けで、現在の防衛省北関東防衛局から外務省情報として、横田基地内に米第13空軍第1分遣隊(ケニー司令部ジャパン)が発足するとの情報提供がありました。その内容は、「米空軍は、横田飛行場において第13空軍第1分遣隊を立ち上げ、第624航空管制隊を第5空軍から第13空軍に所属替えを行う。この第13空軍の司令部はハワイに所在し、この分遣隊の人員はすべて既存の第5空軍の人員をもって充てられる。」「米軍からのプレスリリースによれば、この分遣隊は、航空自衛隊、横田基地内の第5空軍、ハワイにある第613航空宇宙運用センターと調整し、日本における航空運用の企画計画、調整及び執行を行うこととされている」とのことです。】(2007年・平成19年12月羽村市議会、鈴木拓也議員に対する答弁の抜粋)